



前期人権同和教育月間が始まりました。6月12日の校長講話を紹介しします（抜粋）

令和2年度 前期人権同和教育月間に寄せて 「人権感覚を磨く」 6/12校長講話より抜粋

今日から、前期の人権同和教育月間が始まります。皆さんの周りでは人権に関わって問題に感じることありますか？差別やいじめはどうでしょう？校長先生は最近一週間分の新聞記事からどんな人権問題があるか調べてみました。見てびっくり。記事にならない日がないくらいたくさんありました。いくつか紹介します。

<「拉致問題」「ネットへの中傷」「障がい者に対する差別」等の新聞記事を紹介しました>
これらはほんの一部です。これから、皆さんとともに考えたい記事を2つ紹介します。

I NHK 動画に『黒人差別』批判（6/10 朝日新聞）

この絵は動画の中の一コマです。黒人を差別していると批判されました。さて皆さんは、この絵のどこが差別的にあたるのか分かりますか？しばらく考えてみて下さい。記事からは「筋肉隆々」「威圧的」「暴動を連想する」など、黒人は怒っていて怖いというイメージを広げてしまうということで、既にこの動画は削除されているそうです。

私は最初、どこが差別的なのかははっきりと分かりませんでした。黒人の方はこの動画を見てとてもいやな気持ちになったそうです。相手の気持ちを感じる心、これって差別なんじゃないかな？と気づく感覚を人権感覚といいます。私の人権感覚はまだまだ甘いと反省させられました。日頃の生活のなかにも、見えていて気づかない差別的なことやいじめの芽はたくさんあるのかもしれない。

II 「差別をしない人間になりたい」（6/5 信濃毎日新聞投書欄）

以前のニュースで中国人がコロナで差別されているということは知っていました。でもそのとき、私は「ひどいな！」とは思いませんでした。ところがこの投書には、アジアの人に対しての差別が書いてありました。中国人、韓国人、そして日本人もひとかけらにして「コロナ、コロナ」と呼ばれ差別される。えっ！と思ってネットで調べるとアジア系の人に対する差別がたくさんあふれていることが分かりました。「通りかかっていきなり唾をはきかけられる」「近づいただけで悲鳴をあげられる」「避けられる」「鋭い眼差しでにらみつけられる」のでしょうか、皆さん。ひどいですよね。中国人の時には他人ごとでした。でも日本人もひどい差別を受けていると聞いて悲しみと怒りがこみ上げてきました。自分ごとになって初めて気づく気持ちです。さらに、私の心のなかにコロナは中国から世界に広がったんだという見方もあって、自分でもいつのまにか中国のことをよく思っていない気持ちがあることにも気づかされました。このような偏った見方を偏見といいます。普段の生活でも、気をつけないと心のなかに知らず知らずのうちに住みついてしまいます。例えばあの人は暗い人だ、とか、何となく感じる「あいつ何か変！」といったことです。偏見は、相手を決めつけてしまったり傷つけてしまったり避けたり、ばかにしたりする、ということにつながりかねません。

人権感覚を磨く！口で言うのは簡単ですが、このことを本当に分かり実践していくためには“学ぶ”ということが必要です。何がいじめなのか、差別なのか、相手の気持ちはどんななのか、偏見で見てはいないか？自分はどうなのかと自分の心を見つめ、学んでいかなないとどんどん人権感覚は鈍っていき気づくことさえできません。そんな意味で、皆さんにはこの月間中に、人の心について深く学んでほしいと思います。

<イラストの出演>

<https://www.asahi.com/articles/DA3S14507699>

*上記の URL を参照ください

前期人権同和教育月間（6月12日～7月10日）

人権委員会が作成した「人権だより」を紹介します。「あたりまえ」なことが、大切ですね。

人権が「あたりまえ」をつくっている

自分の思ったことを自由に口にする、自分の選んだ宗教を信じる、自由に学ぶこと、自分の選んだ人と結婚すること、好きな服を着ること、好きな音楽を聴くこと、病気になったら医療を受けること。これらはすべて、私たちが持っている「人権」です。

たとえば、政府の政策がおかしければ、私たちは、「それはおかしい」と言うことができます。子どもたちはみな、学校で自由に勉強することができます。高熱で苦しければ、病院にいったり医師に診てもらうことができます。好きな人と結婚するのも自由。仏教、キリスト教、イスラム教など、自分が信仰したい宗教を選ぶのも、基本的には自由です。

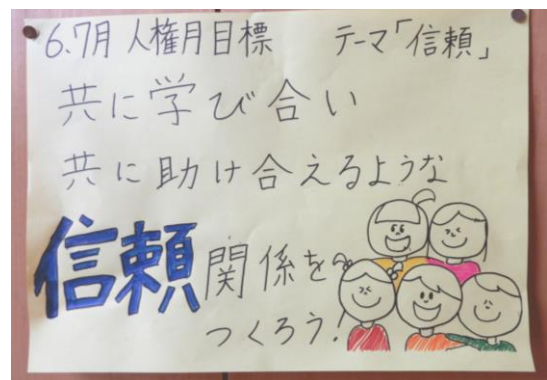
憲法で保障され、今の日本では、「あたりまえ」だと思われているこれらの人権。しかしこれらは、ずっと「あたりまえ」だったわけではありません。これらの人権を「あたりまえ」にしたのは、これらの人権がないために苦しんできた無数の人びとの願いと命をかけた努力なのです。（世界人権宣言より）

わたしたちはみな、生まれながらにして自由です。
ひとりひとりかけがえのない人間であり、その値打ちも同じです。
だからたがいによく考え、助けあわねばなりません。

「情報社会と規範意識」

～6/24(水)非違行為防止研修より～

長野県警スクールサポーターの山田恵津子氏を講師にお招きし、『飲酒運転はなぜ根絶しないか・性犯罪の悪質化・子供達を取り巻くインターネットの現状・情報モラル～規範意識を持つ～』について職員研修を行いました。改めて、非違行為の未然防止への意識を高めることができました。



<人権委員会が作成したポスター>

◆◆◆◆◆ お知らせ ◆◆◆◆◆

- (1) 7月8日(水)に学年・学級(1・2学年)PTAが行われます。今年度、最初の会合となります。新型コロナウイルス感染症対策として、**出席される際は検温をしていただき、風邪症状等ある場合は、来校をご遠慮ください。**
- (2) 7月23日～8月2日に3年生を中心とした「部活動交流大会」が競技ごとに計画されています。**3年生の保護者限定で会場への入場を認める**ということになりました。**ただし、種目や会場によっては密を防ぐため、人数に制限を加えることもある**ようです。詳細と参加計画等については、部活動顧問からお知らせします。

中野市立南宮中学校 (文責) 教頭 山口 近

電話：0269-22-2365 FAX：0269-22-4052